

けいせん

議会だより

Vol.14



桂川町消防団の 年末夜警を激励

消防団員に激励を行う議員。
(右から原中議長、竹本議員、北原議員、林副議長、下川議員、杉村議員)



12月27日(火)に町内16カ所で実施された桂川町消防団による年末夜警を、議長団と総務経済建設委員が激励しました。

この夜警は毎年、火災が発生しやすい年末に実施しています。

当日は気温も下がり師走の冷たい風が吹く中、火災予防にあたってはいる団員一人ひとりに、原中議長は「町民の安全・安心を守るため、昼夜を問わず活動している消防団員の方々に敬意を表します」と感謝と激励の言葉をかけました。

平成29年 新年祝賀式を開催

1月6日(金)に新年祝賀式を開催しました。

初めに井上町長から「健全財政を維持しながら、教育・福祉・コミュニケーションの充実、生活環境の整備など、今年1年を推進の年と位置づけ、しっかりと取り組んでいきたい」と年頭の挨拶を受けました。次に、原中議長は「今年は駅前・町営住宅・地方創生とはつきりした目標がある。議会も目標に向かって一生懸命頑張っていきたい」と挨拶されました。



常任委員会に付託されている閉会中の審査事件

総務経済建設委員会

委員長 竹本 慶吉
副委員長 北原 裕丈
委員 林 英明
委員 下川 康弘
委員 杉村 明彦

文教厚生委員会

委員長 藤川 正恭
副委員長 大塚 和佳
委員 青柳 久善
委員 原中 政廣
委員 吉川紀代子

議会広報委員会

委員長 林 英明
副委員長 下川 康弘
委員 青柳 久善
委員 吉川紀代子



当委員会では、道路管理について付託されています。町内の道路工事個所の入札状況や進捗状況の審査、現地調査などを行い、道路管理が適切に実施されているかを中心に調査を行っています。

当委員会では、環境衛生対策について付託されています。主に生活ゴミ、産業廃棄物などの不法投棄、汚水処理対策、循環資源の再生利用など、生活環境の保全、更なる向上を図るための調査を行っています。



当委員会では、議会広報の編集及び発行について付託されています。主に年4回(3月、6月、9月、12月)開催される定例会後に、常任委員会及び議員の活動・一般質問などについての情報を発信しています。



一般質問

12月定例会で次の議員が一般質問しました。

議員が町の行財政全般について執行部に説明を問うものです。



吉川紀代子議員

就学援助制度について

問 本町に於ける就学援助の認定基準は、どのようになっていくのか。

答（北原学校教育課長） 申請世帯の世帯構成を生活扶助基準にあてはめ算定された金額を、1.5倍したものを認定基準としている。

問 入学準備金の入学前支給・増額改善を表明する自治体が広がり、福岡市では3月支給に向けて、1月から受け付けている。また文科省は2017年度予算の概算要求で入学準備金を「ほぼ倍額に引き上げる方向」で要求している。入学準備金の支給時期の見直しと、引き上げをすべきではないか。

答（学校教育課長） 3月議会

後、県内の実施状況を確認し、実施に向けての課題解決を検討しているところだ。

問 就学援助を認められなかった場合の対応について、生活実態も把握できない申請書1枚で平成23年から平成27年までで19件も振るい落とされている。積極的に就学援助の手を差し伸べべきだと思うがどうか。

答（学校教育課長） 非認定となった場合については、一定の収入があると判断できるので、特別な対応はしていない。

「赤ちゃんの駅」設置について

問 平成27年第5回定例会で授乳室設置を要求した時、町長は「検討したい」と言われたが、どのように検討したのか。

答（井上町長） 授乳室のあり方については、具体的な設置場所・設置時期・方法について引き続き検討したいと考えている。

ベビーカーの導入について

問 赤ちゃんを抱えた若いお母さんが、本庁で手続きをする際に苦労しているのを目にするところがある。お母さんは赤ちゃんを座らせる事のできるスーパー等に置いてあるベビーカーのようなものがあれば助かると思われる。公共施設へのベビーカーの設置を要求する。

答（町長） スーパー等に置いてあるベビーカーは、安全性や使い方に問題があると思うので、改めて検討する。

空調機器の整備について

問 平成27年第5回定例会で小・中学校教室へのエアコン設置要求に対し、大きな課題なので年次計画を考えながら対応していく必要があると言われたが、その後どのように検討したのか。

答（町長） 快適な教育環境を整備することはもちろんだが、環境に対応する体力を育成する事も必要と考える。引き続き検討する。



大塚和佳議員

子育て支援としての取組みについて

問 遠賀町は「子育て支援と併せた農業者支援」として、15歳以下の子どもたちを対象に町産米を支給しているが、実施できないのか。

答（井上町長） 本町にあった方法で検討していく。

問 現在、待機児童が8人いる。飯塚市は「保育士確保対策」として、保育園等に就職する有資格者に独自助成しているが。

答（町長） 処遇改善は、今年7月より実施している。飯塚市、嘉麻市と比較しても同等もしくはそれ以上である。

今後の施設等の新築や改築及び修繕計画について

問 今後、町営住宅の建て替え、

学校・保育所等の改築・施設の修繕等があると思うが、その他考えられる事業計画はあるのか。

答(町長) 町営住宅は、来年度から随時建設を行う予定。また、学校や保育所等やその他考えられる事業計画の質問趣旨がわからない。

修繕等は「桂川町公共施設等総合管理計画」を策定中であるため、今後の計画に触れることはできない。また、この間に総合計画の策定や基本計画の策定があり、それを見通すことはできない。

問 今後の優先順位は。

答(町長) 何をもって優先順位を考えるのか。そこがはっきりしないと回答できない。

桂川駅及び駅周辺整備について

問 桂川駅の整備案が3つ提案されたが、予算等は。

答(町長) J Rと協議中であり、回答できない。

問 J Rと桂川駅橋上駅화의進捗状況は。

答(町長) 実施に向けた協定

書の確認事項について詰めているので、本年度中には方針の決定を目指す。

問 今後の計画と完了後の周辺整備のシミュレーションは。

答(町長) 具体的な案はない。イメージとしては、「にぎわい」のある地域の発展を目指す。

問 桂川駅橋上駅化について「住民アンケート」や、子育て中の保護者を対象にした「懇談会」は実施できないのか。

答(町長) 平成21年10月15日に桂川駅利用者に対してアンケート調査で要望を聞いたし、第5次桂川町総合計画策定時にも、町民に対してアンケート調査を行ったので、改めてアンケートや懇談会を実施する予定はない。

桂川町の財政状況について

問 今から10年後の経常収支比率の推移予測については。

答(町長) 国の動向を常に察知し、町の財政状況と向き合いながら住民の要望に応えつつ、課題解決に取り組んでいく。



杉村明彦議員

学校教育の現場での熱中症対策について

問 桂川町の小・中学校では、どのような熱中症対策の取り組みがされているのか。

答(北原学校教育課長) 熱中症対策については、各学校それぞれ取り組みをしている。基本的には、こまめな水分補給を実施し、気温等の確認を行い気温の高い場合などは注意喚起を実施している。また気分が悪くなった児童生徒への対応として、保健室に経口補水液を常備し、桂川小・中学校においては児童生徒数も多いため製水機を設置している。また、体育授業では、給水タイムをとるなどの配慮もしている。

問 熱中症計測器の設置はあるのか。

答(学校教育課長) 計測器については、特に熱中症に特化したものではなく、一般の温度計を使用している。

問 小・中学校で、水分補給のためにウォータークーラー(給水器)の設置を要望する。

答(瓜生教育長) 水分補給については、子どもたちが各自水筒を持参している。もし、水筒が空になった場合などは、学校の水道の水を飲んでいる。

質問のウォータークーラー等の設置については、適切な使用方法の徹底や機器の衛生管理面の維持など、問題も想定されるので、今後の研究課題だと考える。

道路管理について

問 桂川町では過去に道路陥没などの災害はあったのか。

答(原中建設事業課長) 平成23年度以降では、昨年、九郎丸地区で一件発生している。鉱害復旧センターの対応で復旧した。

問 最近では車を走らせるだけで、空洞を調査できる車両などが開発されている。これを使って防災・減災の意味で空洞調査を行ってみてはどうか。

答(井上町長) 道路陥没については、道路管理上、非常に危険な

問題ではあるが、道路全体を定期的にを行うのは、非常に高い費用がかかる。導入については、必要性を考慮しながら検討したい。



竹本慶吉議員

福祉バス運行状況について

問 運行の目的及び車両台数について伺いたい。

答（江藤健康福祉課長） 役場・住民センターなどの公共施設の利用や町内の移動など、住民の便宜を図ることを目的に福祉バスを運行している。車両はマイクロバス2台を使用している。

問 停留所の決定理由及び方法等について

答（健康福祉課長）

- 町民に公平で公共性のあるルートの設定
- 運行上の安全面を第一に配慮した路線の設定
- 停留所の決定は、道路交通法上、安全に乗客の乗降が行える場所であること等を配慮し決

定した。

問 ルートや停留所の見直しは行ったのか。

答（健康福祉課長） 平成23年度に桂川町福祉バス見直し検討委員会を組織し協議を行った。

要望 すでに5年経過している。少なくとも3年間くらいで各行政区長等の意見を聞き、停留所の移動等を要望する。

問 最近高齢者の交通事故が多発し、直近では死亡事故も発生している。家族の勧めでの免許証の自主返納等で、福祉バス利用への転向があると思う。特に本町内の過疎地域に対する対策は十分か伺いたい。

答（井上町長） 本町の高齢化率は31%を超え、交通手段に困っている高齢者が増える事が予測される。高齢者の事故多発も新たな課題と認識している。運転免許証返還を支援していく方策について検討したい。

桂川駅自由通路について

問 現在JRとの協議が進行中だが、橋上駅建設の実現性はどうか。

答（町長） 桂川駅を南側から利用可能にする整備方針については、桂川駅舎の橋上化が望ましいと判断したところだ。JRと基本方針を決定する具体策を詰めている段階だ。

問 橋上駅舎に併設した保育所等の公共施設の検討はできないのか。

答（町長） 基本的な方針が決定しないと難しい状況だ。



藤川正恭議員

部落差別の解消の推進に関する法律について

問 今国会で「部落差別の解消の推進に関する法律」ができた。この法律は6条からなる理念法だ。

第1条(目的)では、現在もお、部落差別が存在することを認め、「情報化の進展に伴って部落差別に関する状況の変化が生じている」とし、インターネット等による新たな差別事象の増加を踏まえ、「すべての国民に基本

的人権の享有を保障する日本国憲法の理念にのっとり、部落差別は許されないものであるとの認識の下、これを解消することが重要な課題である」としている。

そのため、「基本理念を定め、国及び地方公共団体の責務を明らかにするとともに、その上で、国及び地方公共団体に部落差別解消の施策を講ずること」を求めている。具体的には、

- 相談体制の充実
 - 教育・啓発の推進
 - 部落差別の実態に係る調査の実施を挙げている。
- これは罰則規定のない理念法である。

この法案の意図は特別措置法がなくなつて以来、世間一般に「同和問題はもうなくなった」という風潮がある中で、現在も部落差別が存在するという事が法で示され、部落差別は「社会悪」であると認定するものである。国民全体がこの意識を共有することが大切だ。

また、部落差別の実態はどうなつていいのか、施策を行う上で、科学的調査は必要不可欠だ。是非実態調査を行っていただきたい。

答（井上町長） ご指摘のように、「部落差別解消推進法」が成立した。今後の課題として、その必要性を考慮しながら検討したい。



12月定例会で審議された結果



| 【議案】 | 件名 | 付託委員会 | 審議結果 |
|--------|---|----------------------|--------------|
| 同意第2号 | 桂川町教育委員会委員の任命 | — | 【同意】 賛成多数 |
| 議案第33号 | 桂川町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定 | 総務経済建設委員会 | 【可決】 全員賛成 |
| 議案第34号 | 桂川町税条例の一部を改正する条例の制定 | 総務経済建設委員会 | 【可決】 全員賛成 |
| 議案第35号 | 桂川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定 | 総務経済建設委員会 | 【可決】 全員賛成 |
| 議案第36号 | 桂川町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定 | 総務経済建設委員会 | 【可決】 賛成多数 |
| 議案第37号 | 桂川町特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定 | 総務経済建設委員会 | 【可決】 全員賛成 |
| 議案第38号 | 平成28年度桂川町一般会計補正予算(第3号) | 総務経済建設委員会 文教厚生委員会 | 【可決】 全員賛成 |
| 議案第39号 | 平成28年度桂川町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第2号) | 総務経済建設委員会 | 【可決】 全員賛成 |
| 議案第40号 | 平成28年度桂川町国民健康保険特別会計補正予算(第2号) | 文教厚生委員会 | 【可決】 全員賛成 |
| 議案第41号 | 平成28年度桂川町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) | 文教厚生委員会 | 【可決】 全員賛成 |
| 議案第42号 | 平成28年度桂川町水道事業会計補正予算(第2号) | 総務経済建設委員会 | 【可決】 全員賛成 |

【追加議案】

| | | | |
|---------|---------------------------------|---|--------------|
| 意見書案第3号 | 地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書(案) | — | 【可決】 賛成多数 |
| 意見書案第4号 | 地域防災力の向上と災害に強い防災拠点の整備を求める意見書(案) | — | 【可決】 全員賛成 |

つぶやき

新年を迎えて早や一ヶ月が経ちました。毎年、その年の干支の話が話題になります。

今年の干支は「酉」です。この「酉」は「鶏」を指すものであり、鶏にまつわる言い伝えや鶏に因んだ言葉が数多くあります。

「鶏」は人に時を知らせる動物で、時代を先取る能力があると言われていました。また、「酉」は「とりこむ」と言われ、商売などに縁起の良い干支でもあります。今年は、この「酉」に因んで、飛躍の年にしたいものです。

本来、酉は、樽や壺の形を表す漢字で、「さんずい」が付けば「酒」になります。

最近、酒が容易に手に入ることから、アルコール依存症に陥っている若者が増えていると聞いています。

新成人の皆様、お酒は楽しむ、ルールを守って適度に飲むことが一番です。

青柳久善